

24 年 10 月 9 日

## 平成 24 年度東北・北海道地区林業改良普及協議会の開催結果について

東北・北海道地区の林業改良普及関係団体による協議会が 10 月 4 日に開催されました。本年度は、北海道森と緑の会が事務局を担当し、札幌市内の施設を会場として、6 道県の林業改良普及関係団体及び全国林業改良普及協会関係者が集まり、来賓として北海道の林業普及指導担当の皆様にもご出席いただきました。

会議では、①今後の協議会の活動について、②全国林業改良普及協会への要望・意見、③各道県の主要事業と問題点等について、協議、意見交換が行われました。

その概要は次のとおりです。

### (協議)

今後の本協議会の開催については、「本協議会は、情報交換の場、森林・林業の振興策を探る場として有意義」として今後も継続することで一致。

### (活動状況)

- ・ 岩手県林業改良普及協会では、協会が実施している林業普及現地講座の機会を利用し、未加入参加者の入会を勧誘。
- ・ 秋田県森と水の会では、県が進めている森の案内人の養成に支援・協力。
- ・ 山形県林業改良普及協会ではフォレストワーカー研修を他団体と連携して実施。
- ・ 北海道森と緑の会では「古本で募金」プロジェクトを開始。ブックオフオンライン(株)の協力により、家庭や職場から寄贈された本、CD、ゲームソフトをブックオフに買い取ってもらい、その金額が協会の「緑の募金」として寄付される。

### (意見等)

- ・ 原発事故を契機に、再生可能なエネルギーとしての「木質バイオマス」普及の絶好の好機と思われる。
- ・ 林業の衰退に伴う会員数の減少に端を発して、普及協会に存在意義があるのか、悩んでいるのが現状。

以上